

養老線地域公共交通再生協議会議事概要

項目	内容
会 議 名	令和4年度養老線地域公共交通再生協議会第2回会議
と き	令和5年 2月22日（水） 14:15～15:45
と こ ろ	クインテッサホテル大垣 3階 ソーレB
出 席 者	委 員 26名（別紙のとおり） オブザーバー 1名 事 務 局 3名 傍 聴 者 等 2名
次 第	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議 題</p> <p>議第1号 養老線交通圏地域公共交通網形成計画 「養老線沿線市町及び養老線交通圏の現状」について</p> <p>議第2号 養老線交通圏地域公共交通網形成計画 「アクションプログラム等の進捗状況」について</p> <p>議第3号 養老線交通圏地域公共交通網形成計画の中間評価について</p> <p style="margin-left: 2em;">1) アンケート調査の結果</p> <p style="margin-left: 2em;">2) 中間評価</p> <p>4 報告事項</p> <p>報第1号 今後の日程について</p> <p>5 そ の 他</p> <p>6 閉 会</p>

項目	内容
会議内容	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ 養老線地域公共交通再生協議会 会長 大垣市長 石田 仁</p> <p>3 議 題 (進行：石田会長)</p> <p>議第1号 養老線交通圏地域公共交通網形成計画 「養老線沿線市町及び養老線交通圏の現状」について</p> <p>議第2号 養老線交通圏地域公共交通網形成計画 「アクションプログラム等の進捗状況」について</p> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料No.1、No.2の説明（事務局） <p>【意見・質疑応答】</p> <p>→質疑等なし</p> <p>議第3号 養老線交通圏地域公共交通網形成計画の中間評価について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) アンケート調査の結果 2) 中間評価 <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料No.3-1、No.3-2の説明（事務局） <p>【意見・質疑応答】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を見ると、全体的には回復基調にあることが伺える。これは養老線が観光メインではなく通勤通学メインの路線であり、その機能が果たされているからこそ。しかし、少子化による学生の減少や、働き方改革によるリモートの推進など、コロナ前とは大きく変化しており、これを無理に戻すということとはできないだろうし、利用者自体の減少は避けられないだろう。事業者だけではなく、地域住民がもっと利用することが必要になる。例えば、地域全体でのノーカーデーの実施など、社会的な機運を盛り上げることも必要なのではないか。 ・養老線のサービスに対する現状の満足度（pp. 42）について、運行本数の満足度が前回は今回も不満、やや不満との回答が6割程度ある。運行本数の増加等、何らかの対策は。 →運行本数は変わっていない。

項目	内容
	<p>→運転士の数や経費などいろいろ理由はあろうかと思うが、これだけの不満がある中で何も対策を打たないのでは何のためのアンケートなのか、ということになりかねない。ぜひ何かしらの対策をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先日、JR東海へ要望に行ったが、その時の話として、利用者が大分戻ってきているが、コロナ前まで戻るとは考えていない。今がピークかもしれない。何か新しい手を打つ必要があるとのことであった。先ほど竹内委員が言われた地域全体での活動など念頭に置きつつ、考えていただければ。 ・アンケートに関し、単純集計だけではなく、クロス集計も行い、どういった人がどういった不満を抱えているのかを調べてみるのもいいと思う。 <p>4 報告事項</p> <p>(1) 今後の日程について</p> <p>【説明】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料No.4の説明（事務局） <p>【意見・質疑応答】</p> <p>→質疑等なし</p> <p>5 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養老鉄道(株)大内社長、出井部長から同社の取組み、最新状況について説明。 ・地域公共交通活性化再生法の改正案が国会で審議されている。成立したら支援制度などを説明する機会を設けていきたい。 ・来年度の県の支援については、安全輸送関係は要望額通りとなる見込み。経営安定化補助についても今年度と同程度の見込み。燃料費高騰関係はひとまず保留。今後の推移をみての判断となる。 <p>6 閉 会</p>

項目	内容
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・養老線交通圏地域公共交通網形成計画 養老線沿線市町及び養老線交通圏の現状について 【資料No.1】 ・養老線交通圏地域公共交通網形成計画 アクションプログラム等の進捗状況について 【資料No.2】 ・養老線交通圏地域公共交通網形成計画の中間評価について <ul style="list-style-type: none"> 1) アンケート調査の結果 【資料No.3-1】 2) 中間評価 【資料No.3-2】 ・今後の日程について 【資料No.4】

令和4年度養老線地域公共交通再生協議会第2回会議出席者名簿

1 委 員

No.	法律区分	役職、就任依頼機関等	氏名	備考	随行
1	地域公共交通網形成計画を作成しようとする地方公共団体	大垣市長	石 田 仁	会長・議長	
2		桑名市長	伊 藤 徳 宇	代理 MasS推進室長 Zoom 森山 忠宏	
3		海津市長	横 川 真 澄	代理 市民環境部長 近藤 三喜夫	1
4		養老町長	川 地 憲 元	代理 産業建設部長 松岡 弘泰	
5		神戸町長	藤 井 弘 之		2
6		揖斐川町長	岡 部 栄 一		1
7		池田町長	岡 崎 和 夫	代理 副町長 牛嶋 勝一	
8	公共交通事業者等(地域公共交通網形成計画に定めようとする事業を実施すると見込まれる者)	養老鉄道(株)代表取締役社長	大 内 敬 弘		2
9		(一社)養老線管理機構代表理事	豊 田 富士人		1
10		名阪近鉄バス(株)取締役社長	田 端 英 明		1
11		三重交通(株)代表取締役社長	竹 谷 賢 一	代理 バス営業部長 増田 浩士	
12		スイトトラベル(株)執行役員部長	今 福 一 晴	欠席	
13		岐阜県タクシー協会西濃支部長 (岐阜近鉄タクシー(株)代表取締役社長)	川 内 康 平	代理 岐阜近鉄タクシー(株) 業務部長 高橋 政信	
14		三重県タクシー協会北勢支部長 (株)三交タクシー代表取締役社長)	中 島 嘉 浩	欠席	
15	道 路 管 理 者	岐阜国道事務所 大垣維持出張所長	日 向 保 夫	欠席	
16		三重河川国道事務所 四日市国道維持出張所長	誓 山 実	Zoom	
17		岐阜県大垣土木事務所長	広 瀬 隆 男	代理 施設管理課長 辻 洋介	
18		三重県桑名建設事務所長	友 田 修 弘	Zoom	

No.	法律区分	役職、就任依頼機関等	氏名	備考	随行
19	警 察 署	岐阜県警察 海津警察署長	小 森 琢	代理 交通課長 長谷川 陽祐	
20		岐阜県警察 養老警察署長	山 田 昭 仁	代理 交通課長 柘植 清一	
21		岐阜県警察 大垣警察署長	田 代 成 樹	代理 交通第一課長 廣崎 英貴	
22		岐阜県警察 揖斐警察署長	斧 田 利 明	代理 交通課長 楠山 貴司	
23		三重県警察 桑名警察署長	三 国 悦 夫	代理 交通第一課 堀畑 守民	
24	地 域 公 共 交 通 の 利 用 者	大垣市連合自治会 連絡協議会会長	杉 田 邦 隆	欠席	
25		岐阜県立大垣南高等学校校長	川 瀬 英 樹	欠席	
26		三重県立桑名北高等学校校長	一 尾 哲 也	欠席	
27	学 識 経 験 者	岐阜協立大学学長	竹 内 治 彦		
28		名城大学理工学部 社会基盤デザイン工学科教授	松 本 幸 正	欠席	
29	そ の 他 会 長 が 必 要 と 認 め る 者	大垣商工会議所会頭	田 口 義 隆	欠席	
30		西濃ブロック商工会協議会会長	高 田 英 雄	代理 安八町商工会 事務局長 Zoom 船田 勝司	
31		桑名商工会議所会頭	山 本 重 雄	代理 専務理事 森下 充英	
32		国土交通省中部運輸局 岐阜運輸支局首席運輸企画専門官	渥 美 宏		
33		国土交通省中部運輸局 三重運輸支局首席運輸企画専門官	前 葉 光 司	Zoom	
34		岐阜県都市公園整備局長	舟 久 保 敏	代理 公共交通課長 佐藤 智紀	
35		三重県地域連携部副部長	竹 内 康 雄	欠席	

2 オブザーバー

No.	区分	役職、就任依頼機関等	氏名	備考	随行
1	オ ブ ザ ー バ ー	国土交通省中部運輸局 交通政策部交通企画課長	勝 山 祐 樹	欠席	
2		国土交通省中部運輸局 鉄道部計画課長	小 中 太	Zoom	

